

会社の概要

商 号	株式会社はるやまホールディングス		
設 立	昭和49年11月6日		
資 本 金	39億9,136万8,000円		
本 社	岡山市北区表町一丁目2番3号		
主 な 事 業 内 容	グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理及び不動産賃貸借		
役 員	代表取締役社長執行役員	治 山 正 史	
	取 締 役 常 務 執 行 役 員	伊 藤 卓	
	取 締 役	松 田 良 成	
	取 締 役	菅 谷 貴 子	
	常 勤 監 査 役	佐 藤 晃 司	
	監 査 役	中 川 雅 文	
	監 査 役	岡 田 弘	
主 な 子 会 社 (※は非連結)	はるやま商事株式会社	株式会社マンチェス	
	株式会社モリワン	株式会社ミッド・インターナショナル	
	株式会社テット・オム	田原コンサート株式会社※	
	株式会社ミック	スネイルジャパン株式会社※	
	株式会社BASE		
従 業 員 数	単体	37名	
	連結	1,539名	

株式情報

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	16,485,078株 (うち自己株式 181,654株)
株主数	19,097名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
治山正史	2,244,072	13.76
治山正次	1,759,456	10.79
治山邦雄	1,498,722	9.19
有限会社岩渕コーポレーション	1,324,500	8.12
株式会社四国銀行	765,840	4.69
はるやま取引先持株会	471,000	2.88
はるやま社員持株会	387,185	2.37
治山美智子	358,892	2.20
岩渕典子	349,900	2.14
株式会社中国銀行	313,020	1.91

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 実施する場合は、毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(市場第一部)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。 公告掲載アドレス http://www.haruyama.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324(通話料無料)

株主優待制度

100株以上ご所有の方へ

15%割引券

+

ネクタイ または ワイシャツ
ブラウス

贈呈券 1枚進呈!

※贈呈券は税抜6,000円以下の商品が対象となります
※毎年3月31日時点の株主様に6月末頃発送となります

株式会社はるやまホールディングス <http://www.haruyama.co.jp/>

●所有株数に応じて15%割引券進呈!		
100株～	499株	2枚
500株～	999株	4枚
1,000株～	2,999株	6枚
3,000株～		10枚

HARUYAMA REPORT



第45期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

株式会社はるやまホールディングス

証券コード: 7416



従業員の働き方改革を 目指した 取り組みを実施

代表取締役社長執行役員

吉田 正史

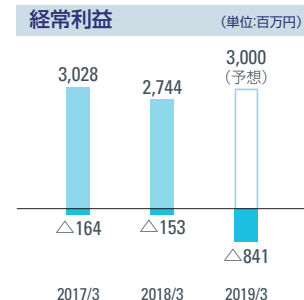
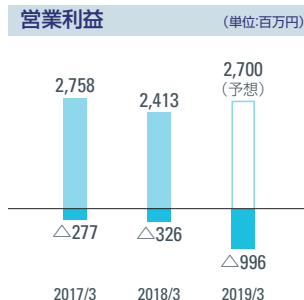
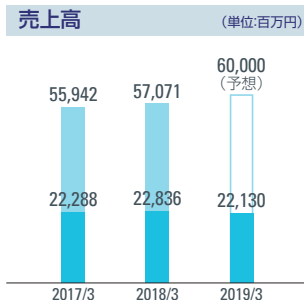
第45期第2四半期連結累計期間の業績について

このたびの相次ぐ自然災害により被災されたみなさまにお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

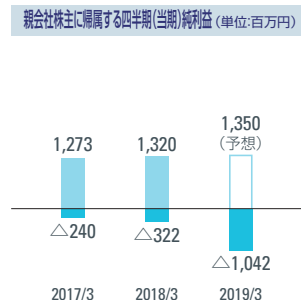
さて、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が堅調に推移するなど緩やかな回復基調が続きました。しかし、雇用情勢が改善するなかでも賃金の伸びは鈍く、個人消費の本格的な回復にまでは至っておりません。衣料品小売業界におきましては、5月の立ち上がりから気温が下がったことなどによる春夏用商品の販売不振や、各地で発生した自然災害の影響等により、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと当社グループは、前期に引き続き「健康」をキーワードにした差別化戦略で客数は比較的堅調に推移いたしましたものの売上は苦戦を強いられました。

商品面では、前期に続き「ストレス対策スーツ」や「ファイテンシリール商品」などの商品がお客様からご好評をいただき、売上に貢献いたし



■ 通期 ■ 第2四半期連結累計期間



ました。さらに、当社のワイシャツ部門における最大のヒット商品である完全ノーアイロンの「アイシャツ」の累計販売着数が330万枚を突破するなど、クールビズ関連商品の販売を底支えた結果となりました。

一方で、商品面だけでなく、前期導入した「ノー残業手当制度」に加え、60歳以上の従業員を対象とした新たなシニア就業支援制度「グランドキャリア制度」を導入するなど、従業員の働き方改革を目指した取り組みも実施してまいりました。

店舗数に関しましては、グループ全体で、24店舗新規出店した一方で、24店舗を閉店した結果、当第2四半期連結会計期間末の総店舗数は530店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は221億3千万円(前年同期比3.1%減)、営業損失9億9千6百万円(前年同期は営業損失3億2千6百万円)、経常損失8億4千1百万円(前年同期は経常損失1億5千3百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、不採算店舗の撤退などで特別損失を2億8百万円

計上したことなどで、10億4千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億2千2百万円)となりました。

今後の見通しについて

今後の見通しといたしましては、「より良いものをより安く」の創業理念のもと、引き続き「健康」をテーマにした機能性商品の品揃えの充実強化やお客様の声を反映した商品の開発に取り組むとともに、お客様の健康推進を目指した取り組みの強化に努め、さらなる売上拡大を図ってまいります。

みなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

JCSI調査のビジネス・フォーマル部門で全指標1位獲得

当社グループが運営するブランド『はるやま』が、JCSI(日本版顧客満足度指数)2018年度第4回調査の「衣料品店業種 ビジネス・フォーマル部門」において「顧客満足」をはじめ、「顧客期待」「知覚品質」「知覚価値」「推奨意向」「ロイヤリティ」の計6項目すべての指標で1位を獲得いたしました。

今後も、お客様により良いサービス・商品を提供するとともに、「時間も忘れるくらい楽しいお店」であると感じていただけるよう、邁進してまいります。



女性の活躍推進

当社では女性が安心して働くことができる環境づくり、女性の積極的な採用、管理職への登用を行っております。

このたび、これらの取り組みが認められ、厚生労働省より「えるぼし」認定企業(正式名: 女性活躍推進法に基づく認定企業)として認定されました。

これからも引き続き女性の活躍推進に取り組んでまいります。



製造と小売りの一貫性ある展開を図る

当社は、6月27日付で田原コンサート株式会社の全株式を取得しました。同社は、当社と50年来の取引実績があり、パリ・コレクションに出品するラグジュアリーブランドや大手セレクトショップの受注を手がけるなど、高い技術と品質が認められる国内縫製工場です。

バイヤーや販売スタッフの商品知識向上を目的とした工場研修も計画しており、「ものづくり」のノウハウを今後の営業に活かしてまいります。

